

令和 2 年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

団 体 名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団	
施 設 名	横浜みなとみらいホール	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内 定 額 (総 額)	17,528	(千円)
	12,776	(千円)
	2,118	(千円)
	2,634	(千円)

(1) 令和2年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場			
1	ジルヴェスターコンサート 2020-2021 → 取り下げ	2020 年 12 月 31 日※	出演：横浜みなとみらいホールジルヴェスター・オーケストラ（管弦楽）、飯森範親（指揮）、徳永二男（ソリスト）ほか	目標値	1,900
		横浜みなとみらいホール 大ホール		実績値	799
2	こどもの日 2020 コンサート	2020 年 5 月 5 日 (中止)※	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	目標値	3,300
		横浜みなとみらいホール 大ホール		実績値	—※
3	横浜みなとみらいホール ORGAN COLLECTION ～パイプオルガンと横浜の街	2020 年 9 月 24 日 ～11 月 26 日※	出演：三浦はつみ・荻野由美子・近藤岳（オルガン）、竹市学（藤田流 能楽笛方）、梅若紀彰（仕舞）ほか	目標値	4,500
		横浜みなとみらいホール 大ホール ほか		実績値	2,014※
4	三浦はつみ オルガンリサイタル	2020 年 11 月 18 日	出演：三浦はつみ 曲目：J.S. バッハ／前奏曲とフーガ ハ短調 BWV546、坂本日菜：九品来迎図Ⅳほか	目標値	1,150
		横浜みなとみらいホール 大ホール		実績値	707
5	映画音楽で綴る、ヨコハマの街「横浜シネマパラダイス」	2020 年 10 月 9 日※	出演：新日本フィルハーモニー交響楽団、（管弦楽）、キハラ良尚（指揮）、池辺晋一郎（ナビゲーター）ほか	目標値	1,400
		横浜みなとみらいホール 大ホール		実績値	571※
6	BEETHOVEN 2020 ピリオド楽器オーケストラ 第九演奏会	2020 年 11 月 10 日	出演：渡辺祐介（指揮）、川口成彦（フォルテピアノ）、藤谷佳奈枝（ソプラノ）、古楽器オーケストラ ほか	目標値	1,350
		横浜みなとみらいホール 大ホール		実績値	763
7	みなとみらいクラシック・マチネ 特別公演 工藤重典フルート・アンサンブル	2020 年 9 月 6 日※	出演：工藤重典・白石法久・山内豊瑞・東佳音（フルート）、長崎麻里香（ピアノ）	目標値	420
		横浜みなとみらいホール 大ホール		実績値	169※
8	デーモン閣下の邦楽維新 Collaboration	2020 年 9 月 4 日※	出演：デーモン閣下（語り・ヴォーカル）、三橋貴風（尺八）、須藤久美子（薩摩琵琶）、稲葉明德（箏・箏・笛・龍笛等）ほか	目標値	1,100
		横浜みなとみらいホール 大ホール		実績値	627※
9	横浜市招待国際ピアノ演奏会 特別公演	2020 年 11 月 7 日※	出演：菊地裕介・島田彩乃・広瀬悦子・吉田友昭（ピアノ）	目標値	420
		横浜みなとみらいホール 小ホール		実績値	322※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和2年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概 要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場			
1	みなとみらい Super Big Band	2020 年 4 月 ～2021 年 3 月※	講師：具理然（トランペット／Lowland Jazz）、特別講師：青木タイセイ（トロンボーン／熱帯 Jazz 楽団）	目標値	1,200
		横浜みなとみらいホール リハーサル室ほか		実績値	1,098※
2	ホールオルガニストインターン事業	2020 年 8 月 20 日 ・21 日※	講師：三浦はつみ（全体）、河内克彦（オルガン構造）、岩崎里衣（話し方）、オフィスパウゼ（写真）	目標値	1
		横浜みなとみらいホール 大ホール ほか		実績値	8※
3	「金の卵を見つけました。」スペシャルコンサート	2020 年 8 月 9 日※	出演：特別編成オーケストラ（ハマの JACK）、過去同事業参加者 7 名の青少年たち	目標値	300
		横浜みなとみらいホール 大ホール		実績値	245※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和2年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概 要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場			
1	Just Composed 2020 Winter in Yokohama	2020 年 12 月 13 日※	出演：山根一仁（ヴァイオリン）、阪田知樹（ピアノ）、狭間美帆（ピアノ／編曲）、稲森安太己（作曲） ほか	目標値	350
		横浜みなとみらいホール 小ホール		実績値	231※
2	連携による地域の賑わい創りの創出事業	2020 年 9 月 ～2021 年 3 月※	内容：試聴ラウンジ 3 回、大佛次郎記念館コンサート 1 回、夕涼みオルガン・コンサート 4 公演 ほか	目標値	1,000
		横浜みなとみらいホール レセプションルームほか		実績値	228※
3	障がいのある子どもたちと共に楽しむ音楽	2020 年 10 月 25 日、 11 月 16 日※	内容：発達障がいのある子ども及び保護者対象の「音と光の動物園」、盲特別支援学校対象の「オルガン体験 WS」	目標値	90
		横浜みなとみらいホール 大ホール ほか		実績値	58※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価
社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。
横浜市の4つの文化政策の柱である「市民の文化活動の支援」、「次世代育成」、「創造性を活かしたまちづくり」、「先進的な文化芸術の国内外への発信」に基づき、横浜みなとみらいホールでは、「音楽で人と人をつなぐ」、「音楽を通して横浜への愛着を育む」、「音楽の価値を継承し、新しい価値を創造する」という社会的役割・ビジョンを設定し、事業を展開しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、当初の予定から内容を変更した事業もありましたが、社会的役割や地域の特性等を意識し、各事業の趣旨・目的に沿って進めることができました。 ■公演事業では、横浜の文化資源とも言えるパイプオルガンや、かつて多くの映画館があった横浜の街を映画音楽とともに振り返る公演など、音楽を通して横浜（地域）への愛着を深めるものとなりました。「横浜みなとみらいホール ORGAN COLLECTION ～パイプオルガンと横浜の街」では、当初予定していた市内教会等でのオルガン・コンサートは、新型コロナウイルス感染症の影響でお客様を入れて行うことができませんでしたが、演奏を収録して配信（視聴数：7,487）することで、市内のオルガンを紹介する、という当初の目標の達成にもつなげました。また、「みなとみらいクラシック・マチネ 特別公演 工藤重典フルート・アンサンブル」、「横浜市招待国際ピアノ演奏会 特別公演」でも、当初予定していた海外からの出演者の来日が叶わず、それぞれ巨匠と注目の若手による共演、過去出演者の今の表現を聴く、という内容に変更して開催しました。公演内容は変更となりましたが、継続した次世代育成や歴史ある公演の実施などにより、お客様のニーズにも社会的役割にも応えることができるものとなったと言えます。 ■人材養成事業『『金の卵見つけました。』スペシャルコンサート』では、当初オーディションを経た合格者がソリストとして、プロのオーケストラと共演する事業でしたが、感染症の影響でオーディションを実施することができず、過去同事業での合格者7人をソリストとしたスペシャルコンサートとすることで、継続してきた次世代育成の取組みが、ステップアップする事業となりました。 ■普及啓発事業では、音楽文化の価値を継承しながら新しい価値も創造する「Just Composed 2020 Winter in Yokohama」において、今の時代の音楽を、若手演奏家の起用や事前のレクチャーの実施などを通してより多くの市民に親しみやすく伝えるよう組み立て、定員の50%の座席設定とはなりましたが、チケットは完売となりました。
助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。
公演事業「ピリオド楽器オーケストラ 第九演奏会」では、ベートーヴェンが活躍していた時代のピリオド楽器（＝古楽器）により作曲当時の音で「第九」を再現。来場者の満足度も高く、音楽専門誌で論評として取り上げられるなど、文化的にも意義深いものとなりました。 人材養成事業「みなとみらい Super Big Band」での中高生のジャズ・ビッグバンドの育成、普及啓発事業「障がいのある子どもたちと共に楽しむ音楽」での発達障がいのある子どもとその保護者や、視覚障がいのある子どもたちへの芸術体験提供の取組は、誰もが享受できる芸術文化の振興という、地域の中核施設としての役割を担うものであり、今後も拡大、さらに多様化する必要があるものとなっています。 また当館は、観光や商業施設の中に立地するコンサートホールとして、地域の経済活性化にも一役を担っており、感染症拡大防止策が講じられる中、普及啓発事業「連携による地域の賑わい創りの創出事業」の実施が困難な面もありましたが、周辺企業向け事業や、前述の「みなとみらい Super Big Band」の商業施設での演奏など、街との連携をはかり、街の一員として存在を示すことができました。

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

■入場者・参加者数の目標の達成について

入場者・参加者数については、新型コロナウイルス感染症が大きく影響しました。すべての助成対象事業のうち、当初の予定通りの日程・内容で実施したものは、2 事業のみ（公演事業「三浦はつみ オルガンリサイタル」、
「BEETHOVEN 2020 ピリオド楽器オーケストラ 第九演奏会」）となり、その他の事業について、中止となった公演事業「こどもの日 2020 コンサート」の他、特に公演をともなう事業については、日程や内容（出演者等）の変更、設定席定員の 50%でのチケット販売（および再販売）など、当初設定した目標の達成に大きく影響がでる変更があり、ほとんどの事業で目標を達成できなかったと言わざるを得ません。一方、人材養成事業「ホールオルガニストインターン事業」では、通年 1 名のインターンシッププログラムから、対象を一般に広げ募集する短期集中講座へ変更したことにより、多くの方に参加していただくことができました。また、「みなとみらい Super Big Band」では、活動制限やイベント出演が中止になるなどの一部変更がありましたが、概ね目標を達成することができました。そのほか、普及啓発事業の「連携による地域の賑わい創りの創出事業」では、外出自粛や密集を避けるなどの世情、感染症対策等により、大きく集客を見込む事業として展開することができませんでした。

■当初予定から変更のあった公演系事業

●: 変更があったもの

事業名	当初予定からの変更点		
	日程	内容	設定席数 (定員の 50%)
公演事業			
横浜みなとみらいホール ORGAN COLLECTION ～パイプオルガンと横浜の街	●	●	
映画音楽で綴る、ヨコハマの街 「横浜シネマパラダイス」	●		●
みなとみらいクラシック・マチネ 特別公演 工藤重典フルート・アンサンブル	●	●	
デーモン閣下の邦楽維新Collaboration			●
横浜市招待国際ピアノ演奏会 特別公演		●	
人材養成事業			
「金の卵を見つけた。」スペシャルコンサート	●	●	
普及啓発事業			
Just Composed 2020 Winter in Yokohama			●

■入場者・参加者の満足度について

指標として設定した来場者へのアンケートについては、感染症拡大防止策の一環で上半期までアンケート実施を見合わせていましたが、10 月以降徐々にアンケートの実施を再開し、当日記入のほか、QR コードでアンケートを読み取り、WEB 上でアンケートにお答えいただく、会場で密にならずに回答いただける方式も導入し、来場者の声やニーズを吸い上げるよう努め、本助成対象事業でアンケート実施事業の回答結果としては、事業内容への満足度は「4.83」と、目標としていた「4.8」を達成しました。

人材養成事業の「みなとみらい Super Big Band」では、参加者だけでなく、保護者へのアンケートを初めて実施し、「お子さま（参加者）の成長を感じましたか？」の設問に対し、「成長を感じた」という回答が 100%となりました。どのようなところに成長を感じたか、具体的なご意見もお聞きすることができ、演奏技術だけでなく、コミュニケーション力や将来につながる参加者の成長を知ることができました。

■人材養成事業「みなとみらいSuper Big Band」保護者へのアンケート

「お子さま（参加者）のどのようなところに成長を感じましたか」への回答

- ・学校の部活では体験できない上級生との関わりで、演奏の技術も幅が広がった。
- ・異年齢の人たちとのコミュニケーション力
- ・技術的な成長だけでなく、精神的な成長が感じられた。
- ・自分に自信を持ち、それを発揮できている。
- ・練習中のわからない音楽用語を、自分で調べてついでにこうする姿勢。
- ・責任感がでた。
- ・不得意だったスケジュールの管理を進んでできるようになった。

…など

令和 2 年度の来場者アンケートより、「横浜みなとみらいホールに期待すること」という設問を設け、「海外からのアーティストの演奏」、「国内のプロオーケストラの演奏」、「若い才能を紹介するコンサート」、「低価格で参加しやすいコンサート」など、事業内容のほか、「幅広い市民が活発に音楽活動できる使いやすいホール」という項目も設けており、令和 3 年 1 月より大規模改修工事のため長期休館に入っている当施設のリニューアルに向け、今後の取組に活かしていきます。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

全体的に、事業期間（日程）、事業費、事業内容について、新型コロナウイルス感染症の影響で計画から大きく変更が生じることとなりましたが、事業自体を中止としたのは1事業のみ（公演事業：「こどもの日 2020 コンサート」）に留まり、感染症対策を徹底した上で、事業を実施することができました。

■事業期間について

当初5月～6月で予定していた公演事業「横浜みなとみらいホール ORGAN COLLECTION～パイプオルガンと横浜の街」、「映画音楽で綴る、ヨコハマの街『横浜シネマパラダイス』」、「みなとみらいクラシック・マチネ 特別公演 工藤重典フルート・アンサンブル」については、9月～11月に日程変更としました。それぞれチケット販売もしていたため、いったんすべて払戻しをした上での、チケット再販売となり、日程変更やチケット再販売について、情報が行き届くよう既チケット購入者への個別連絡や、ウェブサイト、SNS等を活用した周知などを行い、大きな混乱なく進めることができました。

事業内容の変更となった事業も、変更決定から事業実施まで適切に調整を進め、実施に至りました。公演事業「横浜市招待国際ピアノ演奏会 特別公演」については、当初海外から来日するアーティストによる出演で、チケットも完売していたところでの、出演者変更となりましたが、公演の趣旨を大きく変更することなく、過去の同事業の出演者の今の音色をお聴きいただける公演となり、40年近く続く歴史ある演奏会の強みを活かすことができました。

また、人材養成事業「ホールオルガニストインターン事業」は、当初予定の通年での取組が難しく、8月の2日間の短期集中講座とすることで、アーティストと他文化施設のオルガン事業担当者等が共にオルガンやオルガン活用事業の知識を深める内容としました。『『金の卵を見つけました。』スペシャルコンサート』でも、5月～6月の日程で、オーディション（予選・本選）を経て、合格者をソリストとしたコンチェルト演奏会という事業を、8月の1日で過去合格者をソリストに迎えた演奏会とすることで、これからますます活躍していくであろう青少年たちの活動を継続して支援する場となり、さらにお客様にも成長した演奏をお聴きいただくことができました。

■事業費について

チケット販売を行った多くの事業で設定席を定員の50%とすることとなり、また、感染症の影響による外出自粛の世情もあり、当初の予定収入には大きく及ばないことから、事業費において支出を精査することで、極力収支バランスに影響が出ないよう事業実施に努めました。一方で、映像配信を取り入れることで当該費用が新たに発生した部分もありますが、先にも述べたように、その他の支出を精査の上、施設にご来場いただけない方々への発信にもつなげることができました。

その他、人材養成事業「ホールオルガニストインターン事業」では、前述のとおり、通年事業から短期事業としたこと、普及啓発事業「連携による地域の賑わい創りの創出事業」では、“賑わいを創る”ということ自体が制限される状況下であったこともあり、大きく集客を見込むような事業は実施しないながらも、地域の中での横浜みなとみらいホールの存在をアピールするため、周辺企業向けの事業実施や、地域との連携体制を強化するといった費用をかけない取組へとシフトしたこともあり、事業費は大きく減額となりました。

(4) 創造性

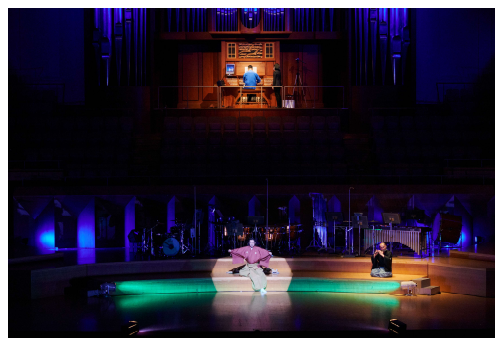
自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

音楽専門ホールであること、公共ホールであること、横浜という街に立地するホールであることなど、地域から求められることに対し、様々な対象、切り口で事業を展開し、施設機能を発揮しました。

■公演事業の芸術性

「横浜みなとみらいホール ORGAN COLLECTION ～パイプオルガンと横浜の街」は、当館を象徴する楽器・設備でもあるパイプオルガンを中心に、横浜の文化資源とも言える市内に点在するパイプオルガンも紹介しながら、横浜という街の魅力を再発見する事業として、当館のホール・オルガニストである三浦はつみのプロデュースで、オルガンの魅力を幅広く展開しました。市内学校や教会のオルガンは観客を入れた公演とすることができず、YouTube および Instagram での紹介となりましたが、横浜みなとみらいホールでのコンサートでは、パイプオルガンの演奏だけでなく、声楽や管楽器、打楽器のほか、能楽との共演など創造性の高い公演も実施しました。



「横浜みなとみらいホール ORGAN COLLECTION
～パイプオルガンと横浜の街」より
『GRAND ORGAN GALA』(会場:横浜みなとみらいホール)
©平館平

「映画音楽で綴る、ヨコハマの街『横浜シネマパラダイス』」は、かつて映画館で賑わい、映画とともに発展してきたとも言える横浜の街にあるコンサートホールであることに着想し、懐かしい横浜の風景（写真投影）に、オーケストラによる映画音楽を重ねながらお楽しみいただく公演で、映画の街・横浜を知る方をお招きしたトークも交え、かつてを知る方々には懐かしく、知らない方には新しい発見ともなる事業となりました。

■人材養成事業、普及啓発事業の企画性

人材養成事業「ホールオルガニストインターン事業」では、オルガニストや文化施設等のオルガン事業担当者など広く参加者を募集し、オルガン・メンテナンスや調律・構造の研修のほか、トークスキルを磨く話し方研修など、演奏者にも事業担当者にも役立つプログラムを実施し、それぞれの立場を超えた交流の場ともなりました。オルガニスト参加者からは、知識を深めオルガンの魅力を広める活手法などのヒントになった、事業担当者からは今後の事業企画に活かしたいと言った声が聞かれ、オルガン事業を多角的に推進してきた当館ならではのプログラムとなりました。

普及啓発事業「障がいのある子どもたちと共に楽しむ音楽」のうち、『音と光の動物園』では、発達障がいのある子どもと保護者、親子で楽しめるワークショップやコンサートを実施。これは、令和2年度より当館の館長に就任し、これまでクラシックコンサートやテレビの音楽番組の構成、障がいとアートの研究などの実績がある新井鷗子の所属する東京藝術大学との連携により、2017年から継続して実施しているものです。音楽そのものや音楽と美術、映像などを組み合わせた音楽ホールならではの内容で、子どもたちの可能性を楽しく広げる取組となっています。

■事業の情報発信

すべての事業は、事業実施前、実施後を含め、継続的に、マスメディアへのアプローチや、施設WEBサイト、ブログ、ツイッター等、多様な媒体を活用し、情報を発信することで、集客だけでなく、取組や成果の発信にもつなげました。特に、公演事業「三浦はつみ オルガンリサイタル」は、長期休館を機にホール・オルガニスト退任となる三浦はつみの演奏による、“ルーシー”という愛称で市民からも親しまれているパイプオルガンの長期休館前の聴き納めとも言え、情報や記事として多くの媒体に取り上げられました。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

■他団体との連携

人材養成事業においては、他団体との連携による事業実施にも注力しました。「みなとみらい Super Big Band」においては、日本でのジャズの始まりとも言われる横浜において、ジャズ振興に尽力している一般社団法人横浜 JAZZ 協会に、令和 2 年度より運営協力をいただくことになりました。2013 年に熱帯 JAZZ 楽団との協働により発足した「みなとみらい Super Big Band」の活動も、プロのアーティストによる指導で演奏技術の向上に加え、他地域でのイベント参加など、活動の幅も広がってきました。さらに、地域でジャズ振興にあたっている団体に協力いただくことで、横浜みなとみらいホールが長期休館の間でも、横浜のジュニア・ビッグバンドとしてさらなる飛躍につながることを見据えています。また、『金の卵見つけました。』スペシャルコンサートでは、特定非営利活動法人ハマの JACK と協働により実施しています。本来『金の卵見つけました。』という企画は、オーディション（予選・本選）を経て、合格者がソリストとしてプロのオーケストラと共演するという事業であったところ、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響でオーディションを実施することができませんでした。そこで事業を中止してしまうのではなく、次世代育成という事業趣旨の元、過去合格者のその後の成長した演奏をお聴きいただくスペシャルコンサートとして、スムーズに移行できたことは、これまで継続して連携を行ってきた賜物と言えます。

■横浜からの芸術発信

横浜においては、将来の音楽シーンを彩るだろう若手ピアニストを世界から見出し紹介し、横浜から発信する、1982 年から続く『横浜市招待国際ピアノ演奏会』や、敬遠されがちな「現代音楽」を取り上げ、時代性の反映される同時代の音楽を新作として発表・紹介する、1999 年から続く『Just Composed』（前身である「日本の音楽シリーズ」は 1977 年～）を長年継続し、広く発信しています。当館では、その 2 事業について、若手演奏家や作曲家、同時代の音楽など、新しい価値を創造・継承する事業として、1998 年の開館以来取り組んでいます。

公演事業「横浜市招待国際ピアノ演奏会 特別公演」では、当初予定の出演者は渡航制限により来日が困難となり、過去出演者 4 名（菊地裕介、島田彩乃、広瀬悦子、吉田友昭）による演奏会へ変更し開催しました。結果として、現在は中堅ピアニストとして多方面で活躍している演奏家の今の表現をお聴きいただける演奏会となり、同事業の新たな展開につながりました。

普及事業「Just Composed 2020 Winter in Yokohama」では、公演の前年に芥川也寸志サントリー作曲賞を受賞した稲森安太己による新作（演奏：山根一仁〈ヴァイオリン〉、阪田知樹〈ピアノ〉）と、弦楽四重奏のための過去の委嘱作品の二重奏として狭間美帆が編曲した作品（演奏：山根一仁〈ヴァイオリン〉、狭間美帆〈ピアノ〉）をプログラムし、若手演奏家・作曲家による新たな価値の創造となりました。公演前日には、演奏家出演のレクチャーを開催し、日頃同時代音楽に馴染みのない層の方々も参加いただき、「翌日の公演が楽しみになった」という声も寄せられ、公演も設定席が定員の 50% 中ではありましたが、チケット完売となったことは、広く紹介し、継承するという趣旨を達成したものとと言えます。

■鑑賞者の拡大

公演事業「デーモン閣下の邦楽維新 Collaboration」では、デーモン閣下の音楽と邦楽そして、夢枕獏の書下ろし作品の語りなどとのコラボレーションという、新しいジャンルとも言えるべき内容で、鑑賞者層の拡大にもつながっています。また、中止となってしまいましたが、公演事業「こどもの日 2020 コンサート」では、子どもたちがコンサート鑑賞だけでなく、コンサートに主体的に携わる取組みを予定していました。今後その取組みを実現し、携わる子どもたちとともに、鑑賞者数だけでなく、鑑賞者層の拡大へとつながる展開をはかります。

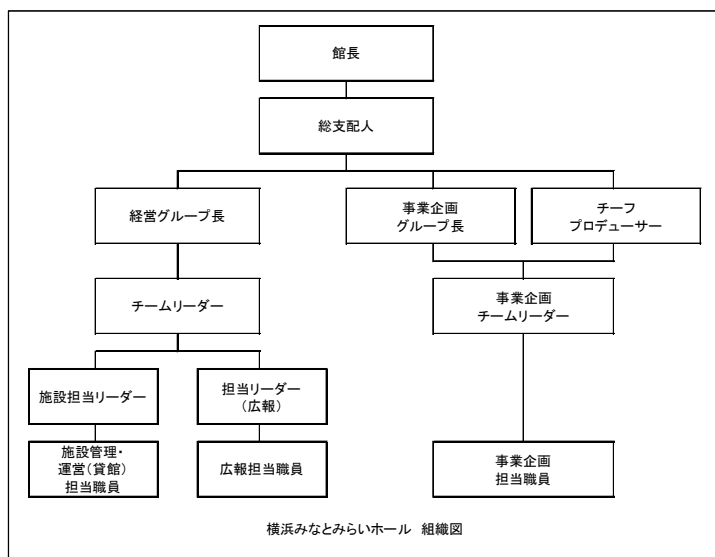
(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

■人材面

令和 2 年度から館長に新井鷗子を迎えるとともに、事業の収支面での執行管理を行う事業企画グループ長のほかに、事業の企画・進行管理を行うチーフプロデューサーを 2 名配置し、令和 3 年 1 月からの大規模改修工事にかかる長期休館（2022 年 10 月まで）まで、そして長期休館からリニューアルにつながるよう事業の実施体制を強化し、本助成対象事業も実施しました。事業企画を担当する職員 4 名は、音楽専門ホールであるとともに、地域の中核施設であることを意識し、公演、人材養成、普及啓発など幅広く専門性を発揮できるよう、横浜市芸術文化振興財団での専門人材研修等により専門性を磨いています。財団内での異動の可能性はありますが、別の施設で専門性を身につけた職員が配置されることにより、事業的にも組織的にも拡がりができる仕組みともなっています。また、施設運営（貸館）や広報においても、国内の主要オーケストラや海外オーケストラ公演への協力のほか、利用者が自主事業の来場者・参加者になることも想定し、事業運営とも密接に連携を図り、施設全体で人員体制の強化を進めています。



■財務面

当施設の主な収入は、指定管理料収入・横浜市からの事業負担金、施設利用料金収入、入場料等収入、助成金・協賛金収入となります。その中で、事業は可能な限り指定管理料に頼らない事業実施に努め、ホール（大小ホールとも）の利用率が 100%に近い中で大きな収入源でもある施設利用料収入を確保するために、自主事業の割合を 3 割程度に抑えることで収支のバランスを保っています。その中で新型コロナウイルス感染症の影響に見舞われ施設利用料金収入が見込むことが困難だった令和 2 年度においては、本助成対象事業において、要望額の 70% に近い助成をいただくことで、地域の中核施設として幅広い企画を実施することができました。今後も地域や社会へ貢献した、地域の特性を活かした事業を企画する中で、様々な助成制度の活用や協賛企業の獲得を着実にはかっていきます。

■各方面とのネットワーク

本助成対象事業の中でも、公演事業「パイプオルガンと横浜の街」、人材養成事業「ホールオルガニストインターン事業」での他施設等との連携による市内のオルガンを巡る事業や、オルガン事業担当者間の連携、普及啓発事業「連携による地域の賑わい創り創出事業」での地域の企業や商業施設との連携、普及啓発事業「障がいのある子どもたちと共に楽しむ音楽」での特別支援学校や大学・専門機関との連携など様々なネットワークを拡大しています。令和 3 年度は施設が休館中により、横浜市内各地域（区役所や文化施設・学校等）との連携を拡大する絶好の機会となるため、各地域の課題やニーズをふまえた事業展開と、さらなるネットワーク拡大をはかります。

■施設面

令和 3 年 1 月から大規模改修工事のため休館となっていますが、リニューアル後には、バリアフリーや設備機能等の充実も想定されるため、これまで実施してきた事業の企画や運営をふまえ、リニューアルした施設の魅力を最大限に発揮できるよう、建物や設備改修の内容詳細を把握し、事業企画・運営につなげていきます。